



光と風に満ち、  
子どもがのびのびと  
育つ住まい。

陽光が降り注ぐ中庭は、子どもたちの遊び場としても十分な広さ。

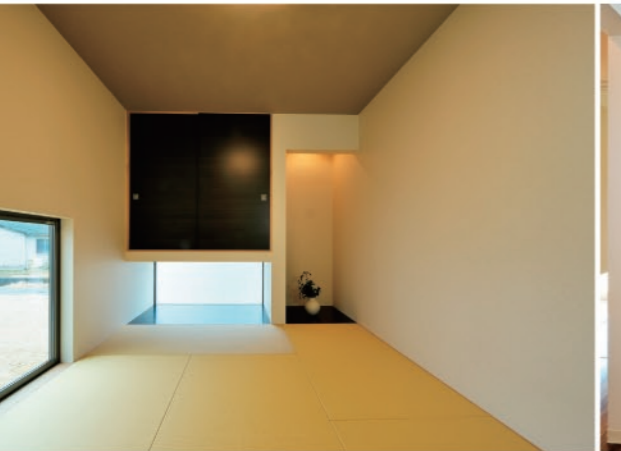
明るい陽ざしと心地よい風を家のなかへと誘う中庭。そこに面した幅広の四連窓を開くと、リビングは広々とした開放的な空間に！今年二月、のどかな風景の残る郊外にそんな新居を構えるのは、K

さんご夫妻。「中庭という空間の使い方のインパクトが強かった。『外だけど中』というのがいいですね。中庭とリビングのつながりが生む広さが気に入りました。二人は、二年前に『コムハウジング』の家を初め

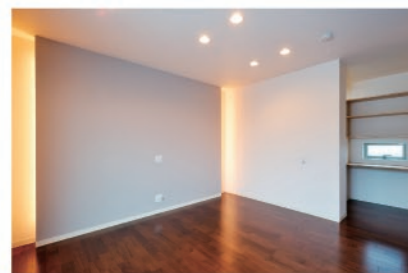
て目にした時のことをそう話す。当時は街なかには建てることも視野に入れていたご夫妻。隣家が近かったり、人通りのある道に面していても、プライバシーを確保できるという点にも魅力を感じたのだとか。



左/リビングにもキッチンにも、たっぷりとした容量の造り付け収納を設置。 右/敷地の広さを活用するため、中庭の向こうに外庭を設けた。中庭の四連窓を開くと、さらなる開放感が。



左/緑なし畳がモダンな趣。大きな地窓からは外庭を臨める。 中/玄関には、家族4人分の靴などをすっきりと収納できる玄関クローゼット。 右/全面に張った鏡が印象的なパウダールーム。忙しい朝でも二人並んで使えるから便利だ。



2階の主寝室。間接照明を効果的に使うことにより、落ち着いた空間を演出している。

にならないように」との配慮から天井に走らせた化粧梁が、空間に変化をもたらしている。リビングと一体化させた対面式のキッチンからは、リビングのみならず中庭にも目が届く。「背中を向けて料理や片付けをしていると、自分だけ隔離されているような気分になるので」と奥さま。

さらに、「最初は、こういうお洒落な家だと耐震性は大丈夫だろうかという不安がありました」とご夫妻。しかし、半世紀にわたって

また、「男の子が二人いるのですが、中庭だといつでも太陽の下でのびのびと遊ばせることができ、目が届くので安心」とも。天井がない中庭だけに、夏場の直射日光が気になるところだが、こちらのお宅には電動で開閉できるオーニング（日よけ）が設置されている。アコーディオン式になっていて開閉具合の調節ができるので、日差しの角度に合わせて、開放感を損なうことなく日陰を作り出すことができるようになっている。

そんな中庭とつながり、家族が最も長い時間を過ごす新居のリビングは、居心地のよさを求め、シックな趣にまとめられている。オフホワイトの壁や天井、奥さまこだわりの深い色を譜えたウオールナットの床。それでいて、「単調な雰囲気



ガリバリウム張りの直線的な外観が印象的。外に向けての窓が極端に少ないのが、「コムハウジング」の「中庭スタイル」の特長。

家を建て続けてきた経験と実績、技術の生んだ「スーパーストロング構造体」が、建築基準法の定める「五倍の耐震性と評価され、耐震等級三を得ていることを知り、安心したという。『今夏は大きなプールを出して子どもを遊ばせたり、バーベキューをしたり...』と中庭の活用法を頭に描くご夫妻。もっかの楽しみは、子どもが寝入った後に、家の灯りを消し、ダウンライトが柔らかな光を落とす中庭で、二人の時間を過ごすことだとか。

感性ある住まい やすらぎの住宅  
com HOUSING 50th ANNIVERSARY

岡山市北区十日市中町6-22  
☎0120-67-2102 fax.086-223-2103  
◆営/10:00~17:00  
◆休/水曜・祝日  
※オープン時間外もご連絡をいただければ相談に応じます。  
<http://www.comhousing.com>  
※「オセラ」掲載のバックナンバーはホームページでご覧いただけます。

